2025年度

認定こども園　自己評価表

社会福祉法人　京都基督教福祉会

幼保連携型認定こども園

桂ぶどうの木こども園

【評価対象期間】

２０２５年４月１日から２０２６年３月３１日☒

【評価責任者】

京都市西京区桂久方町１１４

園長　　中江奈穂美

認定こども園における自己評価の結果

A：たいへんよい
B：よい
C：一部検討を要する
D：改善を要する

項目

◎保育・教育の計画の編成と実施に関する評価

項　目	内　容	評　価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育・教育目標について	(1) 保育・教育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。		○			「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」を踏まえ0歳児から就学前までの保育・教育を行っている。教育・保育計画は前年度の反省や気づきが生かされるよう職員間で話し合い作成している。研修や会議を通して課題にを共有し取り組みを進めている。
	(2) 目標は、各施設や地域の特色を生かしている。		○			
	(3) 目標は、社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			
	(4) 目標は、前年度の反省を生かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育・教育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			それぞれの年齢に応じた年間指導計画の下、一人一人の発達を踏まえた期・月・週の計画を立て、さらに個別支援を要する園児の指導計画をたてて援助している。各指導計画を基本とし保育日誌等の記録を通して振り返りを行い次の実践につなげている。子どもにとって安全なもの、年齢に合っているのかなどを職員同士で確認し、また、調べるなどしながら素材や用具を使うようにしている。
	(2) 環境の構成を意識した保育・教育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(3) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(4) 評価結果を基に、保育・教育の改善に努めているか。		○			
日時程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよいか。		○			きめ細かな年齢による発達に応じた流れで過ごし状況に応じて柔軟な対応をしている。
行事ついて	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			職員の働き方改革や保護者アンケートの意見から、平日に行える行事を増やすように見直し、行った。行事は保護者の方と子ども・保育者がふだんの保育の様子を共有しともに歩むという思いで取り組んでいるが、そういった観点での計画・評価・改善を今後も行っていかなければならないと考えている。行事後は、アンケートや連絡帳などで意見や感想を把握し、次年度の活動に活かしている。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			
	(3) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	(4) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

項目		内容	評価				意見・改善策
			A	B	C	D	
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的・合理的な運営組織になっているか。		○			全体でも協力できる職員体制をめざして運営している。クラスを越えて連携して取り組むことを意識してそれぞれの役割を確認しながら進めている。係りの仕事に関しては、係だけで行うのではなく、勤務内で行えるように、仕事を分担して行っている。
		(2) 職員の配置は適材・適所か。		○			
		(3) 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			職員会議・他フロアー会議等各種会議を行い共通理解、情報共有に努めている。日々の連絡事項や会議録の回覧や掲示等で更なる周知を行っている。職員連絡アプリを導入し、色々な働き方の職員にも閲覧できるようにしている。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
	年齢別・クラス経営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育・教育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				保育目標・子どもの実態に即した指導計画を作成し取り組んでいる。幼児は縦割り保育を基本として取り組み異年齢間の活動を充実している。PDCAサイクルに基づいて評価改善をおこない実践を続けるようにしている。
		(2) 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		(3) 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		(4) 評価・資料(諸記録)を集積しているか。		○			
	保健・安全指導	(1) 年齢別・クラス経営に生かされるような具体的保健対策を講じているか。		○			保健だよりを発行し保護者・園児の健康意識の向上に資するとともに保育者の健康指導の参考としている。感染症が出た場合は、その都度、保護者の方に保護者連絡アプリでお知らせし、体調管理を意識してもらっている。安全計画に基づく毎月の避難訓練を通じて、園児・保育者の安全意識を高めるよう努めている。
		(2) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか。		○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			
情報の扱い		(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報を適正に取り扱っているか。		○			個人情報保護の重要性を理解し配慮や取り扱いについて周知し実行している。また、個人情報が含まれる書類の管理や処理の取り扱いについても注意している。
		(2) 公文書収受、発送、処理を適切に行っているか。		○			
施設・設備		(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。		○			安全点検、遊具点検、消防用設備点検を定期的に行い安全を確認している。防犯カメラを園の各入口、各保育室に設置。また、玄関扉を自動ロックにし、安全確保に努めてい る。保護者へのお知らせは掲示板(玄関、各部屋)を使用し、連絡事項の確認や感染症の状況、写真の掲示による活動の紹介等有効に活用している。また、保護者連絡アプリを導入し、お知らせしている。
		(2) 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
		(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
		(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。		○			

項目		内容	評価				.
			A	B	C	D	
開かれたこども園づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等の幼児児童生徒と触れ合う中で、(乳)幼児が楽しく過ごし充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○			保幼小連携を学校と計画することを昨年度から再開し、学校訪問し、施設見学や授業見学をさせていただいた。次年度も定期的に情報交換の機会を持ち、授業や行事の体験をさせていただく予定である。
		(2) 参観や保育・事業等に参加するなどして、小学校等の教育を理解しているか。		○			
		(3) 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	家庭・地域社会との連携	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外にも対象にした参観日等を設定しているか。		○			個別に園見学をしてもらうことでじっくりと園の様子も見てもらっている。乳児は親子で保育の中に入って過ごす機会を設けている。近所の老人施設との交流の機会をもったり、敬老の集いに招待をしたりしている。ホームページに園の保育の様子を載せたりしている。
		(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		○			
		(3) (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○			
		(4) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○			園庭開放やおいでよ赤ちゃん等を実施し、通常の保育の中に参加できるよう工夫している。本年度より「 こども誰でも通園制度」の試行に取り組んでいる。子育ての悩みの相談を受けることや同じ年齢の子どもを見る機会を作ることで、子育てに対して見通しを持って楽しんでもらえるように関わっている。また、第三子以降産前産後ヘルパー派遣事業にも取り組み、子育て支援を行っている。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○			
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○			
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○			
	情報の発信	(1) こども園だより・クラス通信、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		○			園だより・クラス便り・ホームページ等で保育に関する情報を発信している。校区の子育て連絡会において、各施設との情報交換や連携をし、研修会や親子で楽しんでもらえる催しを実施している。
		(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○			
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。		○			第三者評価は3年に一度受診している。本年度、第三者評価を受け、評価結果から改善に取り組んでいる。また、保育に関するアンケートを保護者に定期的にとり保育の改善につなげている。
		(2) 地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか。		○			